

年頭のあいさつ



雲南広域連合長 速水雄一

新年あけましておめでとございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えとお慶び申し上げます。雲南広域連合は、昨年4月に雲南消防組合、雲南環境衛生組合と統合しひとつになってから、早や9カ月が経ちました。住民サービスの更なる向上に向けて変わらず努力して参りますので、よろしく願います。

まず、雲南広域連合における広域的な地域振興事業でございます。本年平成24年は古事記が編さんされて1300年目を迎え、平成25年は雲南大社の平成の大遷宮を迎えます。雲南地域におきましても「神々の国」しほ雲南地域実行委員会」を組織し、プロジェクト事業に取り組んでいるところがあります。1月21日、22日の2日間、広島市で開催される「島根ふるさとフェア2012」においても、雲南地域の取り組みをPRし、更なる誘客につなげていく考えであります。

また今年の4月から5月にかけて「オロチの里の贈り物」と題して雲南地域の一大観光PRを行います。具体的に申しますと、4月14日、15日に雲南市三刀屋文化体育館アスパルにおいて「出雲神楽と食のフェスタ」を開催します。地元産の安心・安全な食材を利用したファーマーズバイキングレストランの

開催や、雲南地域のおいしい食コーナー、とれたて野菜や特産品の販売を行います。更に、出雲神楽の舞を両日とも無料で観覧することができます。さらに、4月、5月の2カ月間を通して「うんなんオロチ街道フェア」と「オロチ探しの達人」のイベントを開催します。「うんなんオロチ街道フェア」とは、雲南地域の7つの道の駅と奥出雲町の仁多特産市において、それぞれの道の駅、特産市の特色ある催しを行います。たとえば道の駅さくら里さきすきにおいては「雲南スイーツさくらフェア」と銘打ち、桜餅の実演販売やうんなんスイーツ「ズコット」の販売を期間限定で行います。他の施設の催しもご期待ください。「オロチ探しの達人」は、オロチ街道フェアの8つの施設と、出雲神話にまつわる歴史スポット8カ所を巡るクイズスタンプラリーです。抽選で雲南地域の温泉ペン宿泊券や豪華特産品が当たりますので、皆様もぜひご参加ください。

次に介護保険事業でございます。本年4月からは、第5期介護保険事業計画がスタートすることになります。平成24年度からは団塊の世代が65歳に到達することもあり、雲南地域の高齢者人口は平成29年度までは増加する見込みで、これに伴って要介護、要支援（認定者数も増加する見込みです。こうした中、独居高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者や施設待機者の増加など高齢者を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。こうした状況を少しでも解消すべく、第5期介護保険事業計画においては、①介護、②予防、③医療、④生活支援、⑤住

まいの5つを一体的に提供すべく、地域

包括ケアシステム」の構築を目指して計画策定を進めています。雲南地域の実情を考慮して「認知症支援策の充実」「生活支援サービス」について優先的に取り組む予定です。

また、介護サービスにおいては、特に不足している短期入所系サービスや施設待機者、認知症高齢者に対応したサービスなどの基盤整備を検討しているところです。今後も雲南地域の高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境の整備に努めて参ります。

次に消防業務でございます。雲南消防本部につきましては、昨年3月11日に発生しました未曾有の東日本大震災の被災現場へ、緊急消防援助隊島根県隊として、延べ9日間、2隊14名の職員を災害派遣しました。総務大臣から感謝状を授与されると、雲南消防本部へエアーテントや発電機等の災害用資機材が無償貸与されることが決定しました。11月21日に三次市を震源とする震度5弱の地震が発生し、幸いにも当管内で被害は生じませんでしたが、何時発生するか予測出来ない災害に対応するため、関係機関が連携を密にして防災体制の強化を図りたいと存じます。

また、皆様に昨年5月末を設置期限としてお願いした住宅用火災警報器の設置率は、11月末調査の結果74.5%となつています。昨年に比べ火災件数が7軒のうち設置されていた住宅は1軒のみであり、今年も引き続き未設置の方に対する住宅用火災警報器の設置を呼び掛けて参ります。

救急出場も、一昨年に比べ約2000件増の過去最高の出場件数となりました。昨年6月13日から導入されたドクターヘリの運用も、雲南消防本部が県内総出動数の3分の1弱を占めるように、傷病者がより早い医師の処置が受けられるよう有効利用したいと思ひます。消防救急無線デジタル化に伴う高瀬山（三刀屋町）の中継基地局整備につきましても、いよいよ今年から本格化して参りますが、関係者の皆様と鋭意努力し整備を進めていく考えであります。

次に、環境衛生業務でございます。現在、し尿と浄化槽汚泥の処理を行なっている雲南クリーンセンターは、平成2年8月に供用を開始して以来21年が経過し、施設の老朽化が著しくなつています。そのため、平成18年度から計画的な更新に向けての検討を重ねて参りました。また、一方で下水道施設整備、水洗化率の向上に伴い、下水道汚泥は年々増加し、処理経費の増大、今後における施設の更新も検討を要する状況にあります。

そこでこれまで雲南圏域のそれぞれの施設で処理していたし尿と公共下水道汚泥を共同で処理し、集約化を進めることによつて、より効率的に運営しようとする「汚泥共同処理施設整備計画」を策定中です。今後、雲南広域連合を構成する1市2町と連携を図りながら、広域化の必要性・有効性を見据え、計画的に施設を整備していく考えであります。

今後とも雲南広域連合に対し、二層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

新春のご挨拶



雲南広域連合議会 議長 藤原政文

新年あけましておめでとございます。年頭にあたり、雲南広域連合議会を代表して慎んであいさつを申し上げます。

昨年は、大雪の年明けで始まり、未曾有の大災害となった東日本大震災、それに起因する原発事故、さらにはゲリラ豪雨など甚大な災害が発生し、また、タイ国の大洪水や欧州連合加盟国の一部での国家財政破綻の危機による世界経済への大きな影響など先の見えない不安定な年でした。

このような中で、私たちは多くのことを学ぶことになりましたが、そのひとつは、人と人との支え合い、絆の大切さが最も大切なことのひとつであるということです。海外から日本人の秩序ある行動に対し多くの称賛の声が届きましたが、これも日頃の思いやりの心、支え合いの風土に基づくものでないでしょうか。

そして、国難の中にあつて、明るい話題は女子サッカー「なでしこジャパン」がワールドカップで優勝したことです。最後まで諦めない心とチームワークによる勝利は、まさに「絆の力」であり、我々に勇気と感動をもたらしてくれました。

今なお、住み慣れた故郷を離れての避難生活や仮設住宅での生活を余儀なくされている方々の心情を思うと心が痛みますが、復興に向け必死に立ちあがり活動される被災地の方々に、改めて『がんばれ東日本！がんばろう日本！』のエールを贈りたいと思います。

さて、雲南広域連合では、昨年4月に雲南消防組合、雲南環境衛生組合が加わり、新しい雲南広域連合としてスタートいたしました。

本年は、第5期介護保険事業計画、消防救急無線デジタル化事業、汚泥共同処理施設整備事業、古事記編纂千三百年に係る神々の国しまね推進事業など大きな課題について、さまざまな角度から議論を重ねることになります。

雲南広域連合議会におきましても「自己決定、自己責任」が強く求められ、議会の役割がより重要になつてきている今日、安定的な業務運営の確保と住民サービスの向上をめざし、また、「災いから逃げよう」とすると、必ず追いかけてくる。でも立ち向かうと、災いは逃げていく。」の言葉のとおり、さまざまな困難な課題に立ち向かい、皆様の期待に応えられるよう一生懸命努力する所存であります。

皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、雲南地域の発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

雲南広域連合

議会報告

平成23年第3回 雲南広域連合議会臨時会

平成23年11月28日、平成23年第3回雲南広域連合議会臨時会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。

議決された事項

○雲南広域連合副管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

副管理者に対して支給する期末手当について、雲南市特別職の職員の給与等に関する条例を参考に必要な改正を行いました。

○平成23年度雲南広域連合一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出の総額から歳入歳出それぞれ2,275千円増額し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ1,110,143千円としました。

主な内容	消防救急デジタル無線機の建設工事用道路の計画に変更が生じたための、測量設計業務費の増額。副管理者の期末手当支給率の改定に伴う減額。
------	---